

# 令和6年度 新入園児 説明資料



社会福祉法人 種の会  
ななこども園 園長 守田直美

# 法人の沿革

- 法人名：社会福祉法人 種の会 <https://tanenokai.ed.jp/>
- 法人本部：はっところども園（神戸市灘区麻耶海岸通2-3-14）
- 理事長：片山雄基

## 関西

はっところども園（神戸市） 定員105名  
なかはらこども園（神戸市） 定員151名  
ななこども園（藤井寺市） 定員135名  
エールこども園（寝屋川市） 定員175名  
だいな幼児園（神戸市） 定員50名  
天王寺保育園（大阪市） 定員81名

## 関東

つどいの森もみの木こども園（横浜市） 定員85名  
みやざき保育園（川崎市） 定員155名  
世田谷はっところども園（世田谷区） 定員153名  
アルテ子どもと木幼保園（中野区） 定員110名

## 児童館・小規模事業

はらだ乳児園（神戸市） 定員12名  
なのは乳児園（神戸市） 定員12名  
元町はっところども園（神戸市） 定員12名  
なぎさ児童館（神戸市） 学童定員150名  
原田児童館（神戸市） 原則希望者受け入れ  
摩耶保育送迎ステーション 種の駅 定員21名





## ななこども園の概要

- 大阪府認可保育園 平成22年4月開園（藤井寺市民間移管園）
- 平成28年4月に幼保連携型認定こども園に移行
- 定員（135名）1号認定15名、2・3号認定120名
- 0歳児12名、1歳児18名、2歳児18名、3歳児27名、4歳児30名、5歳児30名
- 敷地面積：1432.82㎡ 園舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階
- 休日 12月29日～1月3日、日祝、1号認定児：土日祝、夏季、冬季、春季休暇
- 開園時間 7時00分～19時30分（朝30分、夕方1時間30分は延長保育）
- 職員配置 園長1名、主幹保育教諭2名、保育教諭21名、主幹栄養教諭1名、  
調理員4名 看護師1名、事務員1名、学校医1名、学校歯科医1名、用務員1名、  
保育教諭外2名 合計36名
- 子育て支援事業
  - 子育て相談事業 開園日 月曜日～金曜日（10時～11時半）
  - わんぱく広場 毎月第3木曜日（10時～11時頃）
  - 園庭開放 毎週木曜日（10時～11時30分）
  - ベビーひろば 毎月第3月曜日（10時～10時45分頃）

# 創始理念



子どもの立場を尊重し、新しいかかわり  
（「大人と子ども」「大人どうし」「子どもどうし」）の  
関係性の再構築を創造するための施設にする



# 運営理念



## みんなでみんなをみていく園づくり

—私たちスタッフ一人ひとりが作り手です—

- 「みんなで、みていく」とは、

こども園の職員だけでなく、地域ボランティア、学生ボランティア、専門機関など、子どもに関わる人の輪を広げる実践を意味します。

- 「みんなを、みていく」とは、

園児だけでなく、地域の子育て家庭全般に広げて、関わる内容（関係性）を深めていく実践を意味します。

- 「みんなで、みんなを、みていく」とは、

人の輪を広げ、関わる内容（関係性）を深める手立てや方法に対して、専門性を追求する実践で、これによって、こども園の社会的価値を高めます。



## のびのびしなやかな身体

\*リズムやサーキット遊びなどの多種多様な動きや感覚を経験できる身体活動を通して、乳幼児期の身体をいっぱい動かしたい！という生理的な欲求を満たしていきます。

\*食に関する行事や、栽培・収穫したものを使ってのクッキングなどを体験することで、みんなで食べることの楽しさや食べ物への興味や生命の大切さを感じ心身が健やかに成長するための土台である「食べるこ」とが楽しみにできるようにします。

## 感じる心と豊かな表現

\*水・砂・土・草花などの自然物や、様々な素材に触れることのできる、五感を使った心動かされる直接体験を重ね、感じたことを造形遊びや音楽、身体表現、言葉で表現する喜びが味わえるようにします。

\*想像力・創造力を多様な形で表現する子どもたちの豊かな感性を伸ばしていけるような環境をつくれます。

## 保育・教育目標



子どもたち  
一人ひとりを大切に  
一人ひとりと向き合っ  
て～自分を信じられる子に～

## やってみたい！を見つけ考える力

\*子どもの「なんだろう？」「やってみたい！」気持ちを大切に、楽しい！おもしろい！と、子どもたちが興味や関心をもったことから遊びや活動を広げていきます。

\*自己決定力の土台となるよう、好きなことに夢中になれたり、自分なりにやってみたいことに向かって考え、決めて、試してみることでできる環境を大切にしていきます。

## 育ちあい つながりあう

\*そのときの子どもの姿に寄り添い、そこから考えていくことを大切に、安心して自分の思いを出し答えを見つけられるよう支えながらも様々な考え方があること、答えはひとつではないことを伝えていきます。

\*年上の子の遊びや活動に憧れて真似をしたり、年下の子に遊び方を伝えるなど影響し合える場面や、みんなで目的・目標を見つけ矛盾に向かっていくプロセスを大切にしていき、子ども同士をつなげていきます。



## 保育・教育のねらい

### 0歳児

- 一人ひとりと丁寧にに関わり、発達に合わせた保育をすすめ安心して過ごせるようにする。
- 食事・排泄・睡眠・遊びを大切にして、生活リズムを作っていく。
- 月齢・発達に合った玩具（手作りおもちゃなど）や遊び・活動を取り入れる。
- ミルクや離乳食は家庭と連携をとり、月齢や個々の様子に合わせてすすめていく。



### 1歳児

- 自分がしたいことや、してほしいことを身振りや言葉で伝えられるように保育者が援助する。
- 友達との関わりを大切にし、言葉のやりとりを楽しみながら関わりを広げていく。
- “安心できる”保育者との関係をつくり、基本的な生活習慣を獲得しようとする意欲を引き出す（排泄・着脱・食事面など）。
- 戸外遊び・散歩・サーキットを多く取り入れ、自然と触れ合ったり運動することを通して五感を育み、興味を広げていく（身体機能を高める）。
- 大人を仲立ちに、友達と“見立て・つもり遊び”を楽しむ。



### 2歳児

- 保育者との安定した生活の中で、基本的な生活習慣の自立を目指し自分でしようとする。
- 基本的な運動（走る・跳ぶなど）が活発にでき、自然の中でのびのびと遊ぶ。
- 自分の思いや欲求を言葉で表現できるようになる。
- みんなで一緒にすることの楽しさを知り、子ども同士のつながりを広げる。
- 友達との関わり合い、テーマのある“見立て・つもり遊び”を楽しむ。



### 3歳児

- 🦋 自立と自律を目指す →自分で自分のことができるようになる。
- 🦋 「～だけれども～する」がわかり、感情のコントロールをしようとする。
- 🦋 自分の思いを言葉で伝え、また相手の気持ちに気付く。
- 🦋 トラブルを保育者の援助を受けながら、みんなで解決しようとする。
- 🦋 友達とイメージを共有して、“ごっこ遊び”を楽しむ。



### 4歳児

- 🦋 生活や遊びの決まりを守り  
行事や遊びの経験を通して見通しがもてるようになる。
- 🦋 子どもの興味や関心のある遊びを多くし、経験の幅を広げていく。
- 🦋 生活や遊びの中で相手の気持ちを考えたり  
認め合ったりして、友達との関わりを深める。
- 🦋 思ったこと、感じたことを言葉で伝えることができるようになる。
- 🦋 友達とイメージを共有して、ストーリーのあるお話で“ごっこ遊び”を楽しむ。



### 5歳児

- 🦋 毎日の生活に見通しを持ちながら、自分のことは自分です。
- 🦋 色んな活動の中で楽しさや悔しさを体験し、  
仲間と協力して一つの事をやり遂げる喜びを感じる。
- 🦋 自分の思いを言葉で伝えるとともに、仲間の思いにも耳を傾け  
話し合いを通して友達と認め合う。
- 🦋 年長児としての自覚をもち、年少児に対する思いやりの心をもつ（ちびっこせんせいなど）
- 🦋 お話のストーリーを友達と共有し、登場人物の気持ちや、お話の中の背景の  
意味など、みんなで話し合いながら劇をつくりあげていく。







## ななの保育で大切にしている 「グループ」や「話し合い」について

- 各クラスの中で、少人数の『グループ』に分かれて活動をする事が多々あります。グループで活動することにより、友だち（仲間）の存在を意識するようになり関わり合いが生まれます。
- また、自分の居場所ができることで自分の思いも出せるようになります。自分の思いを伝えたり
- 共感したり、ぶつかり合ったりしながら、生活や遊びを共にすることで、人に対する愛着や信頼面白さ、自分らしさや自分の役割などを学んでいく場のきっかけとなります。
- 『話し合い』は、お互いの気持ちや考えを出し合って確かめ合い、自分や他者について理解を深めていく場となります。保育者は子どもの思いを代弁したり、問いかけたりしながら少人数やグループでの話し合いの場を設けて、それぞれの思いや気持ちをみんなが大切にできるように関わっていきます。



# プロジェクト・アプローチ（プロジェクト型保育）

- 子どもが中心となって保育者と子ども同士が話し合い、保育をすすめていくこと
- 子どもの気づき・興味・関心に基づいたトピックから様々な遊びと活動を関連付けたカリキュラム



子どもたちが示す興味や疑問や問いかけ、また保育者が子どもたちに取り組んでほしい事柄を「トピック」として保育者がそれをまとめて「テーマ」を設け、その中で内容が相互に関連付けられ、ある活動が次の活動をどんどん誘発し、保育が展開されていく。そこに子どもたちの深い「学び」や「育ち」が保障されるというカリキュラムです。

そのトピックの関係性を保育者たちがまとめたものが、各クラスで紹介されている「トピック・ウェブ」（期案）であり、活動や遊びの記録を写真や文章でまとめ、子どもや保育者が保育の振り返りに活用するのが「ドキュメンテーション」です。

## 園運営（保護者対応）で大切にしていること

- 保護者の方への伝達事項を丁寧に行います。（怪我、トラブル、体調の変化、特別な配慮が必要な場合など）
- 園での子ども同士のトラブルや怪我につきましては、園の責任であることを前提に「謝罪」をさせていただきます。その際に経緯や理由等を該当する保護者双方にお伝えしますので保護者同士で「大丈夫でしたか？」「お大事にしてくださいね。」などの声の掛け合いをお願いしています。
- また、年齢に応じて起きたことに対して「どうしたかったのか（理由や意思）」「なぜそうなったのか（原因）」「次はどうすればいいのか（対策）」などを、子どもたちともよく話し合い、安全に対する認識や相手の気持ちを考える機会として（場合によってはクラス全体で）話をしていきます。
- また、そのようないきさつや話の内容（お互いの気持ちも含めて）を、できるだけ保護者の方にもお伝えし、お子様自身のこと、クラスの友だちのこと、クラスとしての取り組みなどについても、理解を深め、共有することができればと考えています。





# 主な活動

- 体育あそび（毎週火曜日） 体育講師による体育指導（サーキット運動）
- リズム
- ふれあいゲーム
- 園外保育（遠足・散歩）
- フリーデイ（コーナー・ゾーン保育） 異年齢活動
- 和太鼓（5歳児）
- 栽培・クッキング
- 制作・絵画活動
- プロジェクト活動
- 地域交流
- 課外教室（ECC英会話教室：土曜日午後）



# 「モノ」との出会い



だんごむし





# 「コト」との出会い





# 「ヒト」との出会い



# 主な行事

入園式 (4月)



お楽しみ保育 (5歳児) 6月



ななまつり (8月)



春の遠足 (5月)

たなぼた (7月)

運動会 (10月)





カレーパーティ



秋の遠足



二上山登山 (5歳児)



ふじねっと



焼き芋大会



豚汁パーティ



## もちつき



## 節分



## 卒園式



## クリスマス会



## その他

- 保育参加（個人懇談）
- 全体懇談会（4月）
- クラス懇談会（4月・3月）
- 園庭開放
- わんぱく広場
- ベビーひろば

## 劇発表会





